

意見交換のための論点メモ

現在、企業や大学等のさまざまな主体において、ボランティア活動を積極的に推進する取組が行われている。しかしながら、まだ取組が行われていないなど、今後、取組が期待される企業や大学等もが少なくない。

こうしたことから、東京2020大会に向けて、ボランティア活動の気運を盛り上げていくためには、積極的に取組む企業・大学等のさまざまな主体の活動を幅広く普及・展開させていく必要がある。

そこで、気運醸成分科会として、また、気運醸成分科会を構成する団体として、今後、どのような取組を進めていったら良いか。

1 気運醸成分科会としての取組

○ボランティア活動に積極的に取組む企業・大学等の情報の効果的な発信について

○趣旨に賛同し気運醸成に取組む団体の拡大について

2 構成団体の取組について

○各構成団体が持つネットワーク・媒体を活用した、企業・大学等の取組などの気運醸成に資する情報の収集・発信について

○各構成団体が持つネットワークを活かした、気運醸成のための働きかけ等について